

沼津市立沼津高等学校・中等部メディアポリシー

I インターネットは自分たちの仲間だけでなく、全世界につながっています

あなたが発信した情報は、世界中の人が見ることができます。あなたが安易に書き込んだことにより後から起こりえる被害を一度立ち止まって考えることが大切です。また、インターネット上にアップされた情報は完全に削除することはできません。何気なく撮った他人の顔写真やプリクラなど安易に掲載すると、それらは今もインターネット上でコピーされ、他人の手に渡っているかもしれません。また、SNSなどで、あなたが悪いと思わない言葉でも、他人から見れば不快に思うこともあります。あなたがインターネット上で発信や行動を起こす際、常に世界中の人が見ている可能性があるということを意識してください。

II 個人情報の書き込みはしない

個人が特定される個人名、学校名、住所、電話番号、クラス、年齢、性別、あだ名等は記載しない。また、あなたの顔写真はもとより、制服やユニホーム姿での写真、無断で撮影した他人の写真なども個人が特定されてしまいます。こうした情報は、インターネット上で永久に残ります。将来、安易な気持ちでやってしまったこと(書き込みや写真の掲載など)で、いやな思いをしないためにも細心の注意が必要です。

III 不用意な書き込みは絶対にしない

安易な気持ちやいたずら心であっても犯罪や法律違反を疑わせるような書き込みや写真の掲載等は、それにより多くの人に迷惑がかかります。実際にするつもりがなくても罪に問われる場合があります。また、インターネット上で発信した情報は、多くの人に広がり、一度公開された情報は完全に消すことはできません。

IV 個人への誹謗中傷や個人の尊厳を傷つける行為は絶対にしない

クラスの友人や他人を傷つけるような掲載は断固として許しません。また、クラスの友人や他人を傷つける悪口、秘密、性的な内容はつぶやきであっても掲載してはいけません。

V 利用しない、見ない、気にしない、利用やめる勇気を持つ

「利用したことがないのでわからない」「利用できない」「利用する気がない」というのは恥ずかしいことではありません。保護者とよく話し合い、家庭でのスマートフォン等の使い方を決めることは大変良いことです。友人が利用しているから、あなたも利用しなければならないということではありません。また、興味本位で利用し、情報を見ることで傷ついたり悩んだりするのであれば、「見ない」「気にしない」と無視することも必要です。また、利用をやめることも大切です。勇気を持って行動することも時には大切なことです。

VI 困ったときは、みんなに相談する

私たちが考える最良なコミュニケーション方法は「電波を介さず直接話をする」です。あなたの大切な気持ちは”相手の顔を見て”直接話をするのが大切です。言葉で伝えられない内容をインターネット上に直接書き込むことなどできないはずで、友人と直接向き合っ、あなただけの判断や思い(感情)で意見を伝えられないのであれば、それは本当のコミュニケーションになりません。実際に顔を見て話をしない「活字だけの世界」では、言葉が独り歩きします。直接相手に気持ちを伝えるのが大切です。

VII コミュニケーションは”相手の顔を見て”

ソーシャルメディアへの参加、書き込み、閲覧などで困ったときは、一人で悩まずに、保護者や先生など、身近な大人に相談する。また、ソーシャルメディアを利用したことで、悩んだり傷ついたりしている友人を見かけたり、耳にしたりしたときも、すぐに相談する。一人で悩みながら使っているときこそ、注意が必要です。

VIII 保護者のみなさまへ(お願い)

近年、スマートフォン等によるトラブルが多く発生しています。スマートフォン等を『持たせる』『使わせる』『使用上のルールを守らせる』のは保護者の責任です。家庭でのスマートフォン等のルールをつくり、子どもの安全を確保してください。また、犯罪や法律に違反する行為は、学校として毅然と対応したいと思っております。是非とも、御家庭での御指導をよろしくお願い申し上げます。